

第2回校内研修会を終えて

5月27日(月)に第2回校内研修会が開かれました。今回の研修会では、太田先生の美術の授業参観・授業整理会、前田先生による授業改善の取り組み紹介を行いました。

美術の授業では、団扇に使用する透かし絵の切り取りを行う内容でした。明確な学習課題が示されており、生徒一人ひとりが「今日の授業すべきこと・到達すべき目標」をしっかりと理解し、授業に参加することができていました。美術の授業だけではなく、他教科の授業でも大切にしたい授業の基礎・基本を再確認できる授業でした。



【学んだことや感想から】

授業の見通しを伝えることで、子ども達が主体的に活動に参加する様子がみられて良かった。教師の工夫次第で今よりもより分かり易い授業・参加しやすい授業を作れるのではないかと思ったので、教科の授業でも活かしていきたい。



太田先生の準備の緻密さ、そして発展課題を用意する見通しなど、勉強になりました。今後、授業参観の後に教科部会をもち、自分たちの教科にどう活かすことができるか、という検討を行ってみたいです。準備等ありがとうございました。

授業の見通しを持たせる工夫やタイムマネジメントの工夫など、具体的な方法を見ることができたので、とても勉強になりました。(拡大投影機の使用、振り返りプリント、板書、タイマーの使用など)子ども達が主体的に学ぶための仕掛けも沢山見ることができました。時間をかけるところは時間を十分取り、そうではないところは端的に進めるなど、メリハリのある授業展開が大切だと学び、自分もそのような授業ができるようになりたいと思いました。

今日は自分にとって初めての研修でしたが、授業はしっかり見通しを持つことで、生徒が学ぶ授業ができるのだなと思いました。また、視覚的な支援は生徒の興味をひきやすく、すごく良い工夫だと思いました。これから授業をしていく上で、生徒が学びたいと思う工夫をしていきたいと思います。

生徒に導入で、本時の見通しを持たせることが本時のねらいに迫っていく上でとても重要であることが分かりました。生徒が主体的に学ぶためには、今は何をすべきかを自覚し、それに集中する環境づくりをしていこうと、自分自身も思いました。

ねらい達成にこだわる授業づくりという点で、太田先生の授業を見せて頂き、また、自分の授業を振り返りながら考えることができる良い機会でした。グループで協議したものを発表して終わるのではなく、それぞれのグループの発表内容について全体で深めるような時間があっても良いのかな?と思いました。

裏面に続きます...

写真 板書の工夫（課題・活動内容）

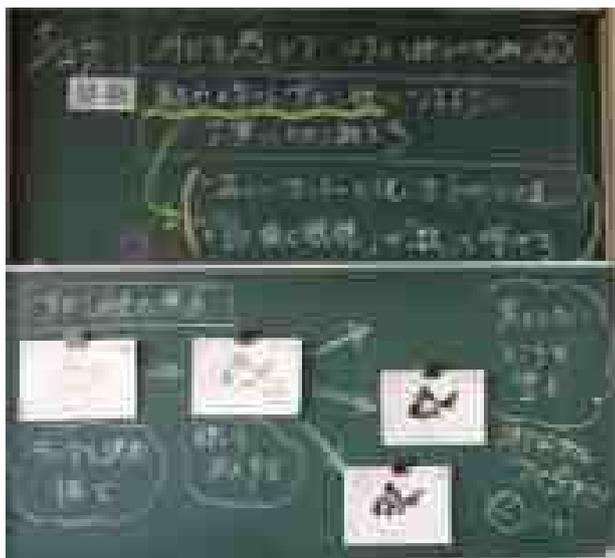
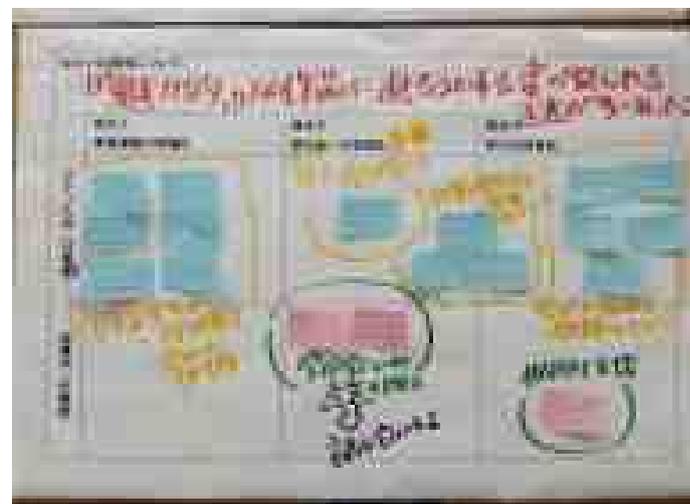
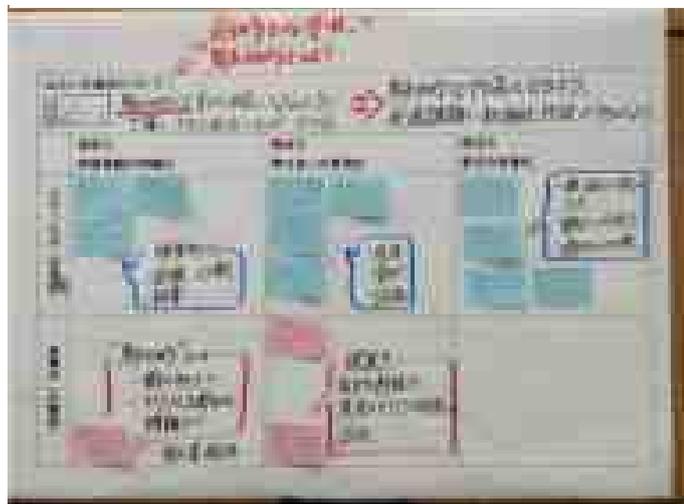


写真 資料提示の工夫・タイムマネジメント



授業整理会（グループ協議） 各グループの意見より



授業改善の取り組み事例の紹介

「理科実験手順カードの使用による自主的な実験作業の充実」（前田先生）

前田先生からは、生徒が自主的に理科の実験に取り組めるように作成した「実験手順カード」の実践を紹介していただきました。昨年度の授業では、教師の実験を行う際の説明が多く、生徒に説明はするが、伝わらないことがあったことから、この実践を行いました。

前田先生のお話で印象的だったのは、この「実験手順カード」を作成したことにより、生徒が自主的に実験に取り組む姿が多くなったという点です。その結果、余計な注意や指導を行う機会が減ったということも興味深い内容でした。

太田先生の授業や前田先生の実践事例に共通している点は、生徒に1時間の授業の見通しをはっきりと伝えている点です。すると、生徒自らが制作に取り組んだり、実験を進めたりと生徒の主体的な授業参加を引き出すことができるという点に気付かせていただきました。

日々の授業づくりに活かすことができるポイントを多く得ることができる研修となりました。

資料 「理科実験手順カード」

